

議事録			
会議名	第 19 回 国立市環境ネットワーク会議		
日時	令和 6 年 8 月 8 日（木） 10：00～12：00	場所	市役所第一・二会議室
【出席者】 敬称略 会員団体：くにたち・まちづくり∞自転車倶楽部 末吉 エネシフくにたち 前田 事務局：鈴木（環境政策課長）、松原（環境政策係長）、朽網（環境政策係主事）			
【議事内容】 敬称略			
1. 会長の互選について 末吉氏が引き続き会長職に互選された。			
2. 各団体の活動報告			
○各団体より、活動の紹介・報告が行われた。			
・前田（エネシフくにたち） 原発に頼らないエネルギーを目指しシンポジウム等を行っていたが、現在は定期的な集まりはなく、各個人で活動している。自身も個人で「くにたちみらいの杜プロジェクト」を立ち上げた。このプロジェクトでは、二小の建て替えに伴って樹木を伐採しないようにするための活動をしており、40 本の木が伐採にならず移植された。また、市外に引き取られた木もあった。			
○その後、意見交換が行われ、以下のとおり意見が出た。			
・緑の基本計画は大切な計画と考えているが、市はどうか。また、グリーンベルトと言う考えがあり、街路樹を守ることで生物多様性につながると考えるが、どうか。 →（事務局）大切な計画と考えている。計画の改定を現在行っているが、生物多様性の観点も盛り込んで改定作業を進めている。街路樹の管理については、どうしても安全性の担保が必要となることから、定期的な精密検査、土壌改良での改善といった対応も行うが、場合によっては伐採という手段を取らざるを得ないこともある。			
・地面の舗装化や林の住宅化などにより植物の育つ環境が変化していて、どんな植物でも生きられる環境づくりが必要だと思う。また、すべてのことが環境問題につながっているが、そのことが中々理解されないと感じている。			
3. 環境フェスタの出展内容について			
○会長より、今年度も環境フェスタ（令和 6 年 10 月 19 日（土）10 時～15 時開催）に環境ネットワークとして出展し、移動式えねこやを展示する旨が説明された。			
○事務局より移動式えねこやについて、以下のとおり説明が行われた。 （事務局）移動式えねこやとは、エネルギーの自給自足を体感できる施設であり、太陽光発電で自家発電した電力を使用し、外部からの電力なしで過ごせる施設のこと。省エネと創エネの徹底により実現しており、昨年度の環境フェスタでも体験型の展示として人気を集めた。			
○その他、環境フェスタについて以下の意見もあげられた。			
・環境フェスタのチラシがデザイン的に集客力に乏しいと感じている。			
・環境フェスタは、ごみ削減の問題だけではなく環境問題全般にわたるものであるので、ごみ減量課ではなく環境政策課で取り仕切る方が望ましいのではないか。			
4. 国立市環境ネットワークのこれからの活動について			
○会長より、これからの活動について資料の説明が行われた。その後、以下の意見が出た。			
・会の維持のためにはオープンな議論の場にするべきではないか。			
・市民の意識が高い国立市だからこそ、何か先進的なことができれば良いと思う。			
・環境ネットワーク会議の位置づけとはどのようなものか。			
→（事務局）「国立市次世代に引き継ぐ環境基本条例」の中で、市民、事業者、教育機関、行政それぞれの責務がうたわれているが、環境ネットワーク会議は市民がこれを実現す			

るための有効な場であると考えている。具体的には、各団体の活動の共有やつながり作りなどに活用されればと思う。

以上